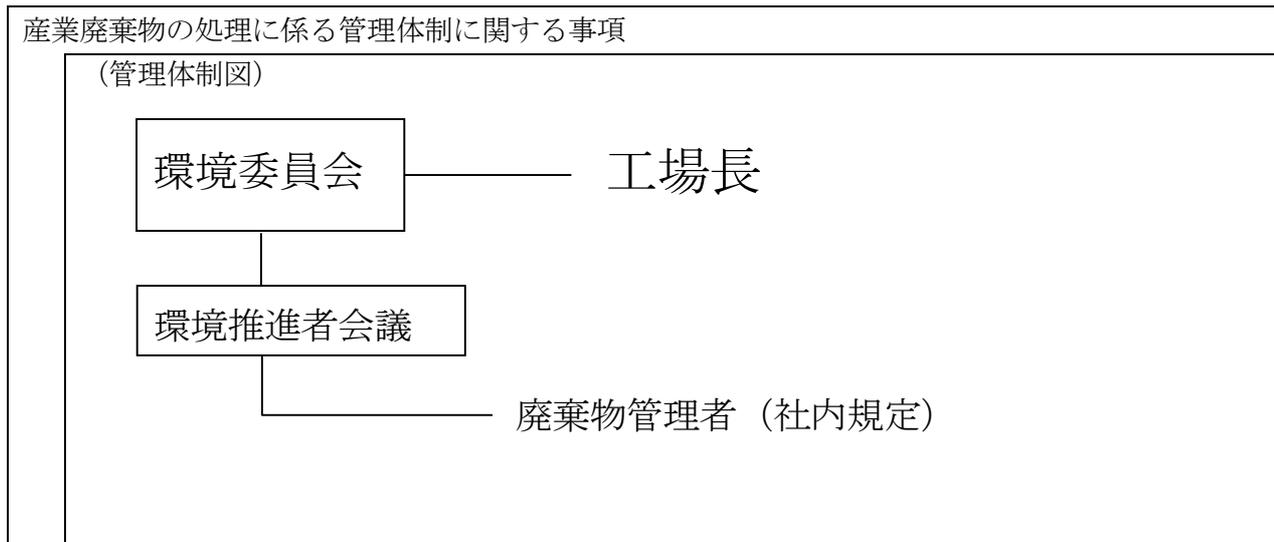


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書				
2022 年 6 月 28 日				
愛知県知事 殿	愛知県刈谷市豊田町二丁目1番地 株式会社豊田自動織機 取締役社長 大西 朗			
提出者				
住 所 愛知県大府市共和町茶屋8番地 氏 名 株式会社 豊田自動織機 共和工場 共和工場長 松田 裕昭 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0562-46-1115 (代表)				
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。				
事業場の名称	株式会社豊田自動織機 共和工場			
事業場の所在地	愛知県大府市共和町茶屋8番地			
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
当該事業場において現に行っている事業に関する事項				
①事業の種類	31：輸送用機械器具製造業			
②事業の規模	2兆7052億円			
③従業員数	1,614人			
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<table border="1" style="margin: auto;"><tr><td style="padding: 10px;">廃棄物</td><td style="text-align: center; padding: 0 10px;">⇒</td><td style="padding: 10px;">委託処分</td></tr></table>	廃棄物	⇒	委託処分
廃棄物	⇒	委託処分		



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	排出量	別紙1参照	
	(これまでに実施した取組) 別紙1参照		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	排出量	別紙1参照	
	(今後実施する予定の取組) 別紙1参照		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙1参照
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙1参照

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に予定していない		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1217.2 t	
(これまでに実施した取組) 特に実施していない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	
(今後実施する予定の取組) 有価物回収となるため発生しない			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に予定していない		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	
	全処理委託量	別紙2参照	
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙2参照	
	再生利用業者への処理委託量	別紙2参照	
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙2参照	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙2参照	
	(これまでに実施した取組) 別紙2参照		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	
	全処理委託量	別紙2参照	
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙2参照	
	再生利用業者への 処理委託量	別紙2参照	
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙2参照	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙2参照	
	(今後実施する予定の取組) 別紙2参照		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状【前年度（令和3年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	安定型 混合廃棄物	水銀使用製品 産業廃棄物
排出量	1480.6 t	23.7 t	3.1t	120.4 t	127.6 t	9.8 t	18.4 t	1.1 t	0.1 t	0.1 t
これまでに実施した取組	・材料、部品の使用効率向上									

②計画【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	安定型 混合廃棄物	水銀使用製品 産業廃棄物
排出量	232.2 t	23.7 t	3.1t	120.4 t	111.9 t	9.8 t	18.4 t	1.1 t	0 t	0.1t
今後実施する予定の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥の一部で、レアメタル含有率の高いものが再資源化できるため、有価物回収を実施 ・廃プラスチック類の一部で、高品質で再資源化できる種類があるため、分別し、有価物回収を実施 ・安定型混合廃棄物は、突発的な廃棄物であり、定期排出の予定なし ・材料、部品の使用効率向上教育の実施 									

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

・上記に挙げた全ての産業廃棄物は、それぞれ分別し、保管している
 ・汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、安定型混合廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物は、それぞれ分別し、保管している

②計画 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

・現状を継続していく

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状【前年度（令和3年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	安定型 混合廃棄物	水銀使用製品 産業廃棄物
全処理委託量	1480.6 t	23.7 t	3.1t	120.4 t	127.6 t	9.8 t	18.4 t	1.1 t	0.1 t	0.1 t
優良認定処理業者への 処理委託量	1480.6 t	23.7 t	3.1t	120.4 t	36.3 t	0.1 t	18.4 t	0.1 t	0 t	0 t
再生利用業者への処 理委託量	1480.6 t	23.7 t	3.1t	120.4 t	127.6 t	9.8 t	18.4 t	1.1 t	0.1 t	0.1 t
認定熱回収業者への 処理委託量	53.6 t	23.7 t	3.1t	1.3 t	36.3 t	0 t	17.6 t	0.1 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者へ の処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0.8 t	0 t	0 t	0 t
これまでに実施した取 組	・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる									

②計画【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	安定型 混合廃棄物	水銀使用製品 産業廃棄物
全処理委託量	232.2 t	23.7 t	3.1t	120.4 t	111.9 t	9.8 t	18.4 t	1.1 t	0 t	0.1t
優良認定処理業者への 処理委託量	232.2 t	23.7 t	3.1t	120.4 t	111.9 t	9.8 t	18.4 t	0.1 t	0 t	0 t
再生利用業者への処 理委託量	232.2 t	23.7 t	3.1t	120.4 t	111.9 t	9.8 t	18.4 t	1.1 t	0 t	0.1t
認定熱回収業者への 処理委託量	53.6 t	23.7 t	3.1t	1.3 t	36.3 t	0 t	17.6 t	0.1 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者へ の処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0.8 t	0 t	0 t	0 t
今後実施する予定の 取組	・委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する									